ビール大麦奨励(認定)品種「スカイゴールデン」の特性

1.試験のねらい

近年、以前より蔓延していた大麦縞萎縮病ウイルス 型系統に加え、大麦縞萎縮病ウイルス 型系統汚染ほ場がビール大麦の産地である県南部を中心に拡大しつつある。また、実需者からは以前にもまして高い品質が求められている。そこで麦芽品質の優れる品種を選定し、栃木県で生産されるビ・ル大麦の高品質化と安定生産を図る。

2.試験の経過

「スカイゴールデン」ははがねむぎ由来の大麦縞萎縮病抵抗性の付与、うどんこ病抵抗性、良質、 多収を育種目標に、平成2年4月に農業試験場栃木分場において、「関東二条25号」を母に、「栃 系216」を父として人工交配を行い、以後選抜固定を図って育成した。

本県では、平成9年度から配付を受け、奨励品種決定予備調査に供試した結果、成績が良好だったので、平成10年度から11年度まで奨励品種決定本調査に供試するとともに、現地調査にも供試して県内3カ所での地域適応性を検討した。その結果、大麦縞萎縮病・型に抵抗性で、大粒で整粒歩合が高く、麦芽品質が優れるので、平成12年11月に栃木県農産物奨励品種審査会幹事会において奨励(認定)品種に採用された。

3.特性の概要

スカイゴールデンはあまぎ二条と比較して、次のような特徴がある。

- (1) 出穂期は同程度~2日早く、成熟期は1~3日早い(表-1)。
- (2) 株は閉じ、草姿が良い。稈長はやや短く、穂長もやや短い。穂数はやや多(表 1)。
- (3) 耐倒伏性は優り、強である(表 1)。
- (4) 大麦縞萎縮病ウイルス ・ 型系統及びうどんこ病に強い(表-1)。
- (5) 子実重は同程度からやや劣るが、整粒歩合が高く、整粒重はやや優る(表 1)。
- (6) リットル重は同程度~やや大きい。千粒重は大きい(表-1)。
- (7) 粒の外観品質は同程度であ(表-1)。
- (8) 麦芽エキス及びエキス収量、ジアスタ・ゼカは優れる。麦芽品質の総合評点は優れる(表 2)。

4.栽培上の留意点

極端な早播きは凍霜害の危険性が高まるので避け、地域における適期播種に努める。また、多肥栽培はタンパク含量が上がり、麦芽品質の低下を招く恐れがあるので避ける。穀皮が薄いので、コンバインの回転数を下げる等脱穀・調製はていねいに行う。

5.成果の要約

本県におけるビ・ル大麦の高品質化と安定生産を図るため、大粒で整粒歩合が高く、大麦縞萎縮病 ・ 型およびうどんこ病に強く、麦芽品質の優れるビール大麦「スカイゴールデン」を平成12年11月に栃木県農産物奨励品種審査会幹事会において奨励(認定)品種として採用した。

(担当者 作物品種開発研究室 池田二朗)

表 - 1 生育・収量調査成績(農業試験場本場水田ドリル播、平成9~11年の平均)

品種名	出穂 期 月日	成熟 期 月日	程長: cm	穂長 cm	穂数 本/㎡		縞萎 縮病	うど んこ 病
	4.17 4.19	5.30 6. 2	84 89	5.2 5.6	772 750	0.0		0.0
比較)タカホゴールデン 	4.16	5.28	91	5.3	738	0.0	0.0	0.0
	 子実	整粒	敕蚧	同左	: IIwh	11. 千分	位 外種	8
只 種 夕								_
品種名	重 kg/a	^{聖和} 歩合 %		標比		w i ź	品質	_
品 種 名 スカイゴールデン	重	歩合	重	標比 %	; 重 g	重	品質	

- 注1.11月上旬播種、条間30cm。播種量a当たり0.8kg。
 - 2. 施肥量 a 当たり N:0.8kg、P2O5:1.8kg、K2O:1.6kg、 堆肥200kg。
 - 3. 倒伏および病害の発生程度は、無(0)~甚(5)の6段階評価。 外観品質は、1(上上)~9(下下)の9段階評価。

表 - 2 品質調査成績(平成10年産 農業試験場本場水田ドリル播栽培)

品 種 名	麦 芽 エキス %	エキス 収量 %						麦芽品質 総合評点	
スカイコ゛ールデン 標)あまぎ二条 比)タカホゴールデン	82.6	74.4	1.95 1.78 1.83	1.07	63.5 60.0 63.9	231 215 252	80.6 81.3 80.4	75.6 67.7 78.8	7.9 - 11.1

注 分析は栃木分場が行った。250g製麦。